

平成 30 年度

事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日

神奈川県厚木市中町 3 丁目 6 番 17 号

公益財団法人健康予防医学財団

1. 概況

1-1 受診者数の推移

公益財団法人健康予防医学財団（以下当財団）は、平成 23 年 4 月に移行認定を受けた。当期は第 8 期に当たる。

平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の年間受診者数は、前事業年度比 114%の 28,440 人だった。内訳をみると、人間ドックが前年比 119%の 5,609 人と受診者数が増加した。また、生活習慣病健診も前年比 111%の 9,410 人と増加した。

	平成 29 年度	平成 30 年度	前年比
受診者数	24,749	28,440	114.9%
人間ドック	4,695	5,609	119.4%
生活習慣病	8,475	9,410	111.0%
定期健診・その他	10,286	12,075	117.3%
婦人科検診	977	1,000	100.3%
市町村検診	316	346	109.4%

（単位：人）

健康診断の需要の高まりを受け、前年度にフロアを拡大したことで、平成 30 年度は受診者数の増加に対し、安全かつ正確に検査を実施することができ、広く県民に対して受診機会を提供することができた。

1-2 売上規模と経費

平成 30 年度の売上は、前年度比 117.9%の約 6 億 4500 万円となった。総合健診（人間ドック）の売上は前年度比約 121.7%の約 2 億 4100 万円で、一般健診の売上は前年度比約 117.3%の約 3 億 8500 万円だった。

前年度の先行投資によるフロア拡充により H30 年度の売上は増加、経費についても売上増加率に対し比例した増加であるが、次年度も引き続き、適正化を図っていく。

2. 健診業務関連部分

2-1 精度管理の状況

日本総合健診医学会の指導のもと、本年度も胸部 X 線や心電図、生化学検査の精度が正常かをチェックした。実施日と結果は以下の通り。

実施機関	実施月	実施内容	結果
日本総合健診医学会	平成 29 年 4 月	生化学精度調査 血球計算精度調査 尿一般精度調査	精度管理良好 精度管理良好 精度管理良好
	平成 29 年 7 月	生化学精度調査 血球計算精度調査	精度管理良好 精度管理良好
	平成 29 年 9 月	生化学精度調査 血球計算精度調査 尿一般精度調査 便潜血精度調査	精度管理良好 精度管理良好 精度管理良好 精度管理良好
	平成 30 年 2 月	胸部 X 腺精度調査 心電図精度調査	精度管理良好 精度管理良好

2-2 職員の状況

平成 31 年 3 月 31 日現在の職員構成は以下の通り。

職種		人数	摘要
医師：内科	常勤	1	統括院長
：内科	常勤	1	院長
：内視鏡専門医	常勤	1	
：内科	常勤	1	
：内科	非常勤	1	毎週木曜日土曜日勤務
：内科	非常勤	1	毎週木曜日勤務
：内科	非常勤	1	毎週土曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	毎週月曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	毎週火曜日木曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	毎週水曜日勤務
：産婦人科	非常勤	1	毎週木曜日勤務
：内視鏡専門医	非常勤	1	毎週月曜日水曜日金曜日勤務
：内視鏡専門医	非常勤	1	毎週火曜日勤務
：内視鏡専門医	非常勤	1	毎週土曜日勤務
：放射線	非常勤	1	毎週火曜日勤務
：放射線	非常勤	1	毎週木曜日勤務
看護師	常勤	9	
看護師	非常勤	4	指定日に勤務

診療放射線技師	常勤	4	
診療放射線技師	非常勤	6	指定日に勤務
臨床検査技師	常勤	8	
臨床検査技師	非常勤	4	指定日に勤務
管理栄養士	常勤	2	
保健師	常勤	1	
看護助手	常勤	1	
看護助手	非常勤	5	指定日に勤務
事務職員	常勤	20	
事務職員	非常勤	3	指定日に勤務
事務局員	常勤	2	

役員（理事、監事）の状況

役職	氏名	現職
理事長	横須賀 浩二	ヘルスケアクリニック厚木 理事長
副理事長	斐 英洙	ヘルスケアクリニック厚木 統括院長
専務理事	武本 吉功	株式会社ベルコーポレーション 代表取締役
常務理事	横田 春樹	ヘルスケアクリニック厚木 医療部長
理事	成澤 勉	ヘルスケアクリニック厚木 事務長
理事	神戸 義人	ヘルスケアクリニック厚木 院長
理事	川原 輝久	

監事	西ノ内 彰	税理士法人 TM 総合事務所
----	-------	----------------

2-3 総合判定の割合

平成 29 年度の健診結果の総合判定の割合は、A 判定が 3.6%、B 判定が 3.6%、C 判定が 28.7%となった。D～F 判定が全体の 64.1%と過半数を占めることから、受診者の健康状況の改善をいかにして進めていくのが重要となっている。

C 判定及び D 判定が全体の 78.2%となることから、未病の段階にいる受診者がかなり多いことが伺えた。今後、これらの層を中心に、保健指導の実施やイベントの企画や情報の発信を行い、さらなる市民の健康増進に注力していく。

平成 30 年度総合判定	人数	割合
A	1,025	3.6%
B	1,029	3.6%
C	8,168	28.7%
D	14,088	49.5%
E	88	0.3%
F	4,072	14.3%

3. 健康知識普及業務関連部分

3-1 特定保健指導

平成 30 年度の特定保健指導における初回面談実施件数は、積極的支援 99 件（昨年度 123 件）、動機付け支援 84 件（昨年度 96 件）となり、昨年度対比で 80.4%と減少。特定保健指導に関しては全国健康保険協会の調査では医療費節減の効果があること、国立循環器病研究センターの研究ではメタボリックシンドロームのリスク軽減が科学的に証明されている。特定保健指導に参加することでの効果を踏まえ、受診勧奨対象者も含めて情報提供を強化し、支援実施者を増加できるように改善していく。

保健指導内訳		平成 30 年度
積極的支援	個別契約	76 件
	その他契約	23 件
動機付	個別契約	53 件
	その他契約	31 件

【参考 保健指導を受けた人の感想】

■積極的支援

①50代 男性

（結果）体重-8.5kg 腹囲-7.0cm

（コメント） 野菜を多く摂取するようになったので、続けて行きたい。

②40代 男性

（結果）体重-4.6kg 腹囲-5.5cm

（コメント） ベルトの穴がしまるようになり、前よりも体調的にもよくなった。今後も今の取り組みを続けたい。健康についてより意識できるようになり、家族の健康についてもより考えられるようになった。

③50代 女性

(結果) 体重-0.1kg 腹囲-4.0cm

(コメント) スマートウォッチを購入し、毎日、歩数、カロリーなどを気にするようになった。

■動機付け支援

①50代男性

(結果) 体重-2.9kg 腹囲-4cm

(コメント) 面談時に親身になって頂いた対応を今でも覚えています。決められた目標の生活を崩す事もありましたが先生の事を思い出し(休肝日)火・木に約束が守れない時は月・水・金でガマンしました。今の生活はこれからも続けて行こうと考えています。

②40代男性

(結果) 体重-2.9kg 腹囲-3.0cm

(コメント) 昼食を糖質が少ないものと野菜中心にしたことにより、体重を落とすことができた。苦戦したことは、途中で食事が元に戻りかけたことです。糖質が少ないものと野菜を中心とした食事は継続したいと思います。

3-2 市民向け無料勉強会・セミナー

1. 地域包括ケアシステム勉強会

地域包括ケアシステムについては、他職種の連携が必須でありながら仕組みが複雑で、結局何をどうすればよいのか分からないという方が多く、地域の医療、介護、福祉活性化の為、地域包括ケアシステムの基本について分かりやすく講義を実施。厚木市及び周辺市町村の医療・介護従事者との連携強化に繋がる場としても認知されつつあります。

1) 第5回「地域包括ケアシステムの歴史」

(平成30年6月27日 水曜日 19:15～21:00 アミューあつぎ)

2) 第6回「遠隔診療の歴史と地域包括ケアを考える」

(平成30年10月15日 金曜日 19:15～21:00 アミューあつぎ)

3) 第7回「ヘルスケアサービスの創り方」

(平成30年11月28日 水曜日 19:15～21:00 アミューあつぎ)

4) 第8回「イギリス医療制度」

(平成31年2月27日 水曜日 19:15～21:00 アミューあつぎ)

2. JMS（ジャパンマンモグラフィー・サンデー）

（平成30年10月21日 日曜日 8:15~15:00）

10月に開催したジャパン・マンモグラフィー・サンデーは、NPO法人J.POSHが推進する、働く女性を対象とした乳がん検診の受診勧奨イベント。血圧や体脂肪測定無料開放。

3-3 啓発活動

1. 疾患別リーフレット事業

健康診断で得られた情報を分析し、発症率の高い疾患5種を抽出。抽出した疾患の啓発リーフレットを作成。自治体、企業、医療機関に配布。

2. 検査ガイドブック事業

一般的に健診施設で行われている検査項目に関するガイドブックを作成。検査の目的、基準値、異常値が出た際に考えうる症状や病名、今後のアドバイスなどを分かりやすく記載。検査の内容や意味を知っていただくことで、健康意識が変わり病気の早期発見、早期治療につなげていくことが目的。自治体、企業、医療機関に配布。

3. がん検診受診率向上キャンペーン事業

受診勧奨・受診率向上のため、自治体を実施する検診の受診勧奨チラシを作成。厚木市においてはがん検診を実施しており、受診率向上、継続的な受診による健康維持を目指しています。今回、厚木市とタイアップし、がん検診受診者増加を目的にがん集団検診受診者から抽選で100名様にプレゼントが当たるキャンペーンを展開。検診受診勧奨チラシだけでなく、がん検診受診の大切さやがんの基礎知識をまとめた啓発用資料も同封。このキャンペーンにより厚木市のがん検診実施の認知度向上に寄与した。

以上